事業所名:グループホーム邑久幸ホーム

作成日:平成 24 年 3 月 15 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む 具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	40	・食べることが楽しみで、食への要望が日々の生活の中で聞かれます。 ・高齢化に伴い嚥下状態が低下し食事中にむせることが増えてきています。	食べることを楽しむ空間作り	・一人ひとりの嗜好をさらに把握し、可能なことは献立に取り入れていきます。 ・行事の時の食事には、普段の食事に変化をもたせた内容のものを考え楽しく食べれるよう工夫をします。 ・月に1回程度おやつ作りを入居者の方と一緒にします。 ・日々の生活の中で簡単で楽しめる嚥下体操を取り入れます。	6ヶ月
2	52	・認知症の進行により頻繁に大きな物音をたてられる方に対して、他の入居者の方が不穏状態になりやすい。 ・高齢に伴い共有のトイレや居室のポータブルトイレ使用時、床が汚れる。	・不快な物音がなく、穏やかな雰囲気の中で 生活できる。 ・いつ誰が利用する時もきれいな状態で利 用できる。	・大きな物音をたてる原因を探すように関わります。 ・物音は意思伝達の手段だと認識して介護に関わります・気持ちを理解し、寄り添う介護をこころがけます。 ・定期的な掃除のみならず、常に汚れの有無を気にかけます。 ・トイレを利用される時にさり気なく介助につきます。スリッパの裏をきれいにして床の汚れが広がるのを防ぎます。	
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。